

Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



雄武町役場地域包括支援センター保健師

近藤 里奈さん

「安、心感があり、利用者さんに信頼される保健師を目指します」と話すのは、今年で役場職員として2年目になる近藤里奈さん。出身は旭川市で、名寄市立大学を卒業後、雄武町に採用となり、包括支援センター介護予防係の保健師として活躍中。

保健師を目指した理由について聞いてみると「家族が保健師であったこともあり、医療職に進むことは決めていました。その中から、保健師を選んだのは、高齢者の人が健康的で自分らしい生活を送ることができるようサポートをするという職業に魅力を感じたからです」と話してくれました。

現在の主な業務は、なるべく介護を必要とせずに、健康的で自立した生活を維持できるよう支援を行う介

護予防や、来所した利用者の相談内容に合わせた生活支援やサービスの紹介を行う包括的支援などで「知識や経験がおよばずに、苦労したり悩むことが多々ありますが、周囲のサポートのおかげで、日々多くのことを学ぶことができ、自身の成長を感じられること、町民の皆さんとたくさん関わることのできる今の業務が楽しいです」と仕事にやりがいを感じているようです。

「高齢者の中には、必ずしもSOSを出せる人ばかりではないので、ご自宅への巡回訪問なども行っています。皆さんの健康的な生活をサポートできるよう、安心感と信頼を得られる保健師を目指して頑張ります」と自身の目標に向けて努力を続ける熱意が感じられました。

近藤さんの今後の活躍に注目です。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくりま
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくりま
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくりま
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくりま
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となりま

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼先月、図書館で行われたヒグマの講話に参加してきました。クマの冬眠するメカニズムや、鮭を食べたりできるクマが実は一部地域のクマだけなどの意外と知らないヒグマの生態を知る貴重な経験になりました。毛皮も、子どもと大人ではまったく毛質が違って面白かったです。（松井）

▼今回表紙に使用させていただいた2021雄武町フォトコンテストの写真ですが、大賞以外の応募写真全てが素晴らしく、目を奪われるものでした。広報おうむの表紙も、見る人に何か感じて頂けるものを目指して行かなくてはいけないと改めて勉強させていただきました。（結城）